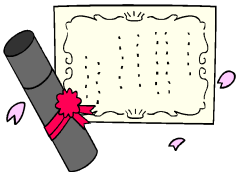
チャレンジ

大仙市立太田北小学校
学 校 報
2019,3,13
＜No.27＞
文責（校長：福山）



いよいよ明日　卒業式

グラウンドの雪もほぼ溶けて、春の景色が広がっています。早いもので、また、１年が過ぎようとしています。そして、これまで太田北小の最高学年として、全校を引っ張ってきた６年生が巣立つ日を迎えます。

何とも寂しい限りですが、キラキラ輝く未来に向かって頑張ってほしいと思います。

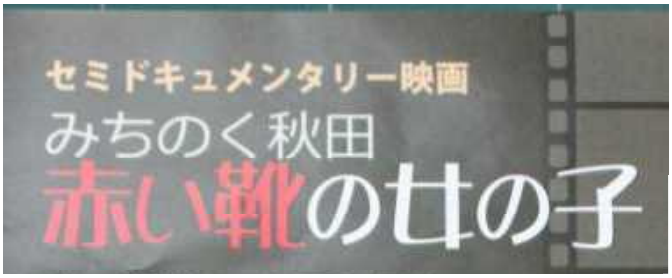
右側の写真、妙に６年生が小さく見えます。そう、これは今の６年生が１年生の時の授業風景。担任の伊藤先生と楽しそうに勉強している光景です。こんなにかわいかったんですねえ！この６年間で大きく成長しました。体も大きくなり、顔も大人びて、心も広く大きくなりました。

明日の卒業式に向け、これまでのことを思い出しながら、一生懸命、式練習に励む姿はとても凛々しく感じます。昨年は、５年生として６年生をサポートし、がんばっていました。この１年は、何かにつけて常に全校の前に立ち、後輩たちをリードしてくれました。特に本校の柱である「全校音楽劇」では、長いセリフのある主役級の役を立派に演じきり、幕リーダーとして下級生の面倒を見てくれました。本当に頼りになる６年生でした。

大活躍した６年生６人は、明日思い出多き学び舎を旅立ちます。明日の卒業式も立派な姿で一人一人が主役になることと思います。

また、在校生も、別れを惜しみつつ卒業する６年生のために心のこもった式にしてくれることと思います。

6年生を送る会



お知らせ！

映画出演依頼

先日、一通の封書が届きました。

実は、秋田にも「赤い靴の女の子」の像があると言うことで、映画化したいとのことでした。子役については、県内の子どもに出演してほしいと言うことで、秋田県教育長に相談したところ、大仙市立太田北小学校を推薦されたと言うことでした。

配役としては、小学校入学直前の子「ハツ」～**女の子１名、いじめっ子の男の子３名程度**と言うことでした。したがって、**対象となるのは１・２年生。**

詳しいことは、まだ決まっていないと言うことでした。現在わかっていることは、撮影時期が桜の咲いている頃、出演時間は５分程度、と言うことで撮影は１日程度で終わること。出演に関しては、ほぼボランティア。撮影は、学校が休みの日にということでした。

学校としては、子どもや保護者が希望すれば可能であると言うことを伝えてあります。

また、この映画制作には、本校の音楽劇の演技指導をしてくださっている、演出家の土谷さんも大きくかかわっています。今後、詳しいことがわかり次第、皆様にお知らせしたいと思います。希望するかしないかについては、希望調査等で行う予定です。その際は、上記にあるように１・２年生への配布となる予定ですので、ご了承ください。

太田北小で取り組んで知る「全校音楽劇」が広く県内に知れ渡っているということで、嬉しく思いました。私は、これまでのレールに乗ってその一端を担っているだけですが、映画出演のオファーが来るなどとは予想していませんでしたので、驚いている状況です。

チャレンジしてみるのもよい経験になるのではと思います。